

—本学で働く すべての教職員へ—

*Annual  
Report*  
**2018**



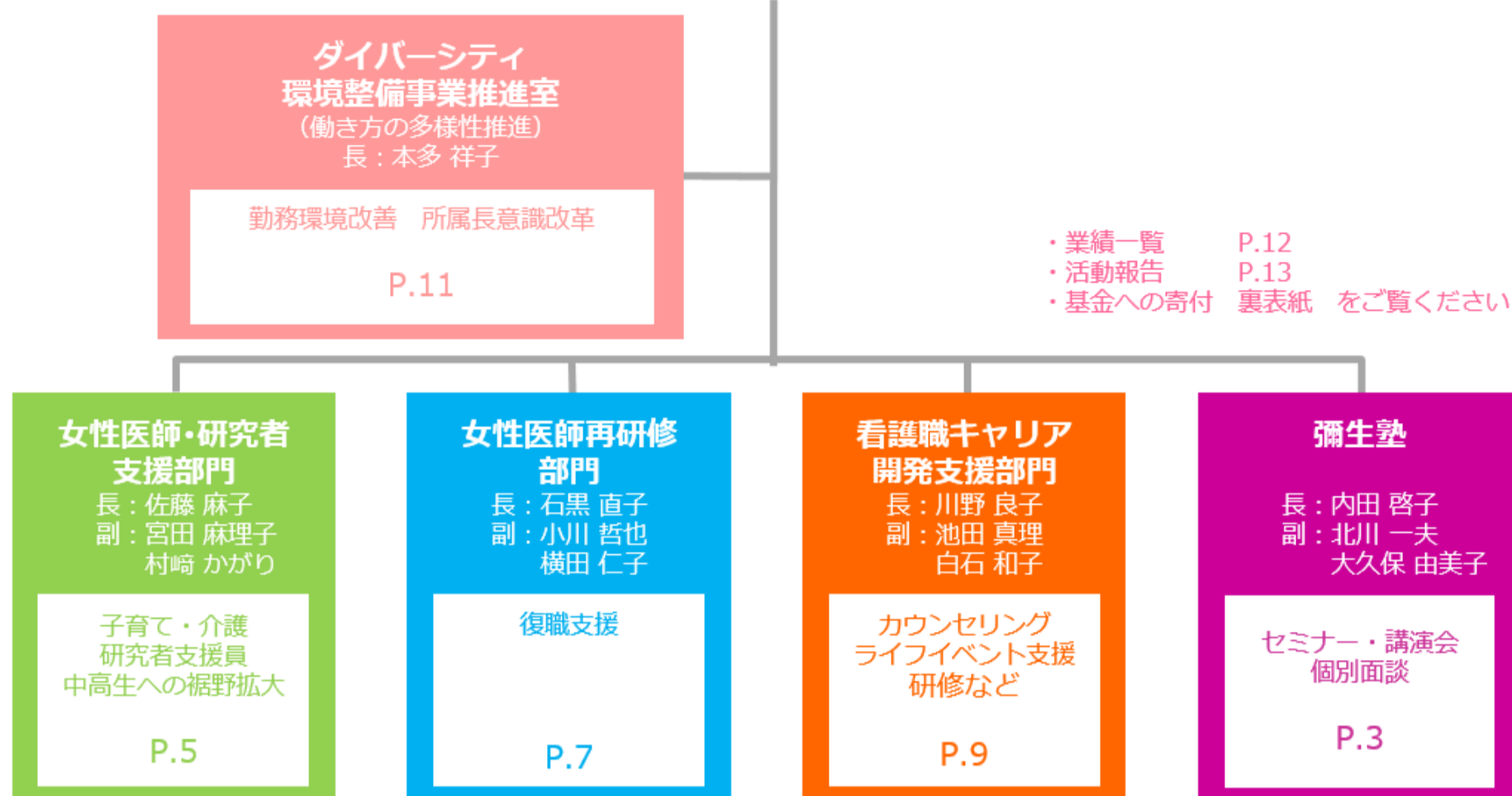
東京女子医科大学

2018年度 女性医療人キャリア形成センター報告書

## 女性医療人キャリア形成センター

(運営委員会・事務部門)

長：肥塚 直美 副：斎藤 加代子



### 女性医療人キャリア形成センター センター長 肥塚 直美

理事



東京女子医科大学は自立した女性医療人の育成という建学の精神と『至誠と愛』の教育理念のもと、最良の医療を実践する知識・技能を修め、高い人格を陶冶した医療人の育成に努めてきました。本学は文部科学省平成28年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、より一層、女性医療人の(1)ダイバーシティ研究環境整備(勤務環境改善、育児支援、介護支援)、(2)研究力向上・リーダー育成、(3)上位職への登用に向けて女性医療人キャリア形成センターを中心に取り組みを進め、成果を上げております。本センターには「女性医師・研究者支援部門」、「女性医師再研修部門」、「看護職キャリア開発支援部門」、「彌生塾」のプロジェクト部門とこれら部門と有機的に連携する「ダイバーシティ環境整備事業推進室」を設置し多面的に活動しております。今後も勤務継続支援に加え、キャリア形成を通じてリーダーとなる人材を育成し、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。皆様のご理解、ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 女性医療人キャリア形成センター 副センター長 斎藤 加代子

臨床ゲノムセンター 所長・特任教授



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の採択の下、2017年より「男女共同参画推進局」から「女性医療人キャリア形成センター」となり2年余が経過しました。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が核となり、本学の女性医療人キャリア形成支援を牽引しています。2006年、科学技術振興機構の委託を受けて始まった女性研究者・女性医師支援のセーフティネット整備から、キャリア形成とリーダーシップ育成にパラダイムシフトし、202030の数値目標を掲げて着実な成果を挙げております。今年度は、多くの女性教授の輩出、東京都女性活躍推進大賞の受賞をきっかけとして小池百合子東京都知事をお招きし開催した彌生塾講演会の成功が大きな成果です。「女性医師・研究者支援部門」「女性医師再研修部門」「看護職キャリア開発支援部門」「彌生塾」が有機的に連携し、多面的な活動を行っております。事務長と事務職の皆様にご感謝申し上げます。東京女子医科大学における女性医療人のさらなる飛躍を推進するために、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

女性医師・研究支援部門  
部門長

佐藤 麻子

臨床検査科 教授



女性医師・研究者支援部門では、子育て支援、勤務環境の改善、女子中高生の理系進路選択支援、研究支援員制度を行っております。子育て支援では、院内保育、病児保育の事業支援とともに「女子医大・東京医大ファミリーサポート」、また、サポーター対象の「子育て支援セミナー」を実施しきめ細やかな支援を可能としています。勤務環境の改善は、短時間勤務制を診療現場に導入し、「宮原敏基金・女性臨床医師支援」により、女性臨床系教員のキャリア形成支援を行っております。さらに、新しい研究支援員制度では、女性医師・研究者への研究の遂行を支援しています。今後も、皆様からのなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女性医師再研修部門  
部門長

石黒 直子

皮膚科学講座  
教授・講座主任



本部門では、女性医師が種々の理由で離職された後の復職にあたりキャリアカウンセリングを行っております。出身大学に関わらず、臨床経験や現在の個人の状況などを把握するためのヒヤリングの場を設け、ご相談者の方向性を検討し、個々に合った研修や実習などをご提案し、復職支援を行っております。女性医師が20%を越えるようになった現在も、出産・育児などを契機に離職し、その能力を埋もれさせている方が多くおられます。離職中の女性医師の皆様へ、本部門で行っている柔軟なプロジェクトをご活用いただき、最終的には皆様はその力を最大限発揮し、社会貢献にもつなげていただけますよう橋渡しができればと考えております。

看護職キャリア開発  
支援部門  
部門長

川野 良子

医療施設部門担当理事付  
統括看護部長



本部門は2009年4月の設立から今年で10周年を迎えました。2016年からは「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」をスタートし、将来の看護管理者を育てる研修として外部からの受講生も受け入れています。さらに今年度は「看護研究推進」が5つ目のプロジェクトとして誕生いたしました。臨床現場で働く看護職から、研究的な取組を望む声がたくさんありながら中々進まなかった仕組み作りにより、ようやく着手することができました。また、昨年度休止したクリニカルコーチ研修を再開し、第7期生の研修は順調に進んでいます。このように、看護職キャリア開発支援部門の活動は、教育部門と臨床部門の看護職が協働しながら生涯にわたるキャリア教育を軌道に乗せつつ進化しています。

彌生塾  
塾長

内田 啓子

学生健康管理室 教授



本学の創設者である吉岡彌生先生のお名前を冠に頂戴した女性医師のキャリアアップのための彌生塾が創設されて丸3年がたちました。この間の活動を通じてキャリアアップしたいと考える女性医師のニーズがかなり明確になったと感じています。また、本科生から多くの教授、准教授を輩出できたことは誇りに思っています。本塾の活動がJSTダイバーシティ環境整備事業の重要な柱の1つであり、そのことで活動が飛躍的に具体化しました。今後は採択期間が終了しても継続していけるような方策を築き、彌生先生のお名前に恥じぬよう活動していきたいと思っています。多くのやる気のある女性医師の参画をお待ちしています。

ダイバーシティ環境  
整備事業推進室  
室長

本多 祥子

解剖学講座 准教授



2018年4月より前任の野原理子先生を引き継いでダイバーシティ環境整備事業推進室長を担当させていただいております。長年女子医大で基礎医学研究や教育に関わらせていただき、また自分自身も介護の苦労を経験した立場から、女性医療人の皆様が本学で常に楽しく快適に御自身の夢を追求し、それを形にできるよう、微力ながらお手伝いをさせていただきたいと考えております。推進室では特に勤務環境改善のプロジェクトを担当しておりますので、研究・教育や臨床の現場でがんばっておられる皆様のご意見やお力添えが何より大切と存じます。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 彌生塾

東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてより良い社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための塾です。



### 2018年度実績



吉岡彌生先生

#### 昇進・昇格

- 教授 8名
- 准教授 1名
- 臨床教授 3名
- 講師 1名
- 特命担当教授 1名

#### 個別面談実施

本科生 42名

### 登録者数



### 英語セミナー

実施日	タイトル	内容	参加者数
6/22	英語論文A①	医学論文の執筆・修正のコツ (初～中級)	7名
6/27	英語論文A②		5名
8/31	英語 プレゼンテーション	プレゼン型での相互フィードバック	8名
10/10	英語論文B①	医学論文の英語表現について ポイントトレーニング(中～上級)	6名
10/16	英語論文B②		7名
	英語論文校正	個別の論文校正・コーチング	5名



【講師】  
David Kipler氏  
カクタス・コミュニケーションズ  
(株)

### リーダーシップセミナー



実施日	講師	内容	参加者数
5/15	トーマツイノベーション (株)	リーダーシップ概論①	11名
9/28		リーダーシップ概論②	7名
12/8	吉岡 俊正 理事長・学長(当時)	本学が求めるリーダーシップ論	15名

### ピアラーニング

実施日	演者	参加者数
11/8	小森 万希子教授(東医療センター麻酔科)	7名
1/23	石黒 直子教授(皮膚科)	7名

女性医師がキャリア形成をしていく上でのロールモデルとして、教授となった先生方から自身の経験や、教授となって思うことなどを率直に語ってもらう場として開催しています。

## 彌生塾講演会・セミナー

### 研究倫理セミナー～臨床研究を始める前に知っておかなければいけない研究倫理～

臨床研究と診療の違いや臨床研究の三要素(科学性・倫理性・信頼性)や分類と規則など、臨床研究をする前に知っておくべきことを講演。新設された臨床研究法についても併せて解説。体系的で分かりやすいとお声を頂きました。※eラーニング公開中

実施日	演者	参加者数
7/23	塚原 富士子特命担当教授(薬理学)	20名



### 科研費採択セミナー～科研費採択のための効果的な情報分析と計画調書作成～

研究費審査の概要から応募戦略として何をあらかじめ調べておくかなど、具体的かつ実践的な書類作成についての解説。ポイントで具体例をあげるなど非常に分かりやすいセミナーだったと好評を得ました。※DVD貸出中



実施日	演者	参加者数
9/21	塩満 典子先生(JAXA所属)	17名

### プレゼンテーションの再考セミナー～分かりやすく伝えるテクニック～

人にモノを伝えるときの思い込みなど、コミュニケーションを行う上で知っておくべきことやコツを実践的な例を取り入れて解説。多職種から応募があり関心の高さが伺えた。講師の軽妙な語り口とその分かり易い解説で好評を博した。※eラーニング公開中

実施日	演者	参加者数
10/29	大島 武教授(東京工芸大学芸術学部)	27名



### 彌生塾講演会・ダイバーシティ環境整備事業中間報告会 ～女性が輝き続けるダイバーシティ推進のために～

当日は学内外合わせて511名の参加があり、大盛況のうちに終了しました。司会は彌生塾塾長である内田啓子教授にお願いし、はじめに吉岡俊正理事長・学長(当時)、岩本絹子副理事長(当時)が挨拶され本学が女性医療人の活躍推進に一層取り組んでいく旨の抱負を述べられました。

第一部の座長・肥塚直美理事(女性医療人キャリア形成センター長)からご紹介があると、東京都知事である小池百合子先生が登壇されました。東京都が進めている「3つのシティ」施策のうち「ダイバーシティ」に焦点をあてて解説され、「ライフ・ワーク・バランス」を実現するために何をすべきかお話いただきました。学生の質疑より、小池先生が防衛大臣であった時のエピソードを交えながら、人間力を極めること、その上で女性特有のプラスアルファを活かすことの重要性を説かれました。

第二部では、斎藤加代子特任教授(女性医療人キャリア形成センター・副センター長)から本学の女性医師・研究者支援の歩みについて、本多祥子准教授からは文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」にかかわる取り組みについて講演を行いました。

参加者からは「小池先生の言葉にエネルギーを感じた」「女性の力を活用できるような声をあげていきたい」「本学の先進的な取り組みを組織内外にもっとアピールして欲しい」とのお声がありました。

※DVD貸出中(第一～二部)、eラーニング公開中(第二部・本多准教授講演)

実施日	演者	タイトル	参加者数
12/8	東京都知事 小池 百合子氏	～第一部～ 基調講演	511名
	斎藤 加代子特任教授	～第二部～	
	本多 祥子准教授	ダイバーシティ環境整備事業中間報告	



## 女性医師・研究者支援部門

子育てなどのライフイベントと診療・教育・研究を両立しつつキャリア形成を継続できる環境を整備するための組織です。



### 女性医師研究者支援シンポジウム

2018年6月2日(土)に臨床講堂 I において、女性医師・研究者支援部門主催、ダイバーシティ環境整備事業推進室、総合研究所共催による女性医師・研究者支援シンポジウムが開催されました。

**第一部**では、女性医師研究者・医学生研究発表として生理学講座(神経生理学分野)の木内有希先生と学生研究プロジェクトに参加をした6名の医学部4年生による研究発表が行われました。

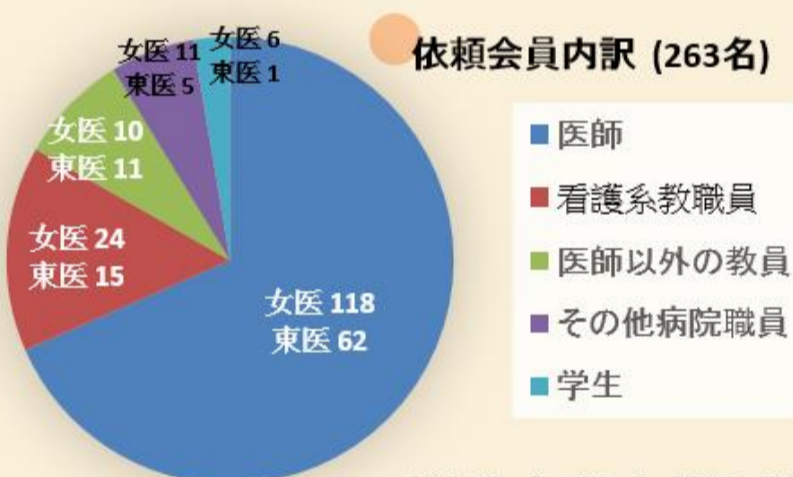
**第二部**ではダイバーシティ環境整備事業推進室事業である「勤務環境改善プロジェクト」に取り組まれた、内分泌外科の藤本美樹子先生と脳神経内科の白井優香先生よりご報告いただきました。



### 女子医大・東京医大ファミリーサポート



子育て支援を受けたい人(依頼会員)と子育て支援をしたい人(提供会員)が会員登録をし、コーディネーターが調整をする会員制の相互援助活動です

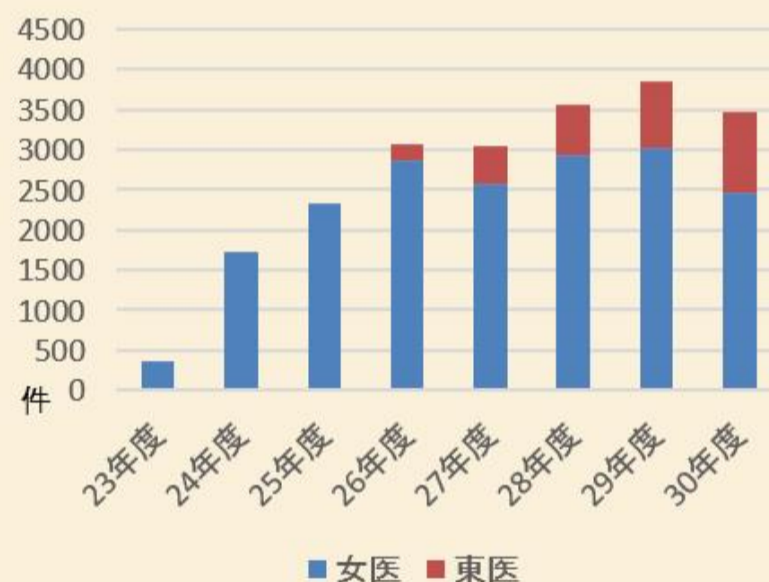


※女医:女子医大、東医:東京医大

#### 活動実績

- 保育サービス講習会:【6月、11月】
- スキルアップ研修会:【8月、2月】
- 全体交流会:【10月】
- ファミサポ通信21、22号発行:【5月、10月】

#### 活動件数



### 院内勉強会

- 5月 皮膚トラブルについて
- 6月 嘔吐時の対応・食中毒について
- 7月 知っておきたい子どものBLS
- 8月 赤ちゃんの心の発達について  
研修参加者(7月)の伝達講習
- 9月 研修参加者(8月)の伝達講習
- 10月 離乳食について
- 11月 病児受け入れでの感染症の判断について
- 12月 感染症対策、11月研修参加者による伝達講習
- 1月 嘔みつきについて、12月研修参加者による伝達講習

### 院内保育所



### 研修

- 7月 第21回医療保育学会(栃木県):3名
- 第26回病児保育全国大会(大阪):3名
- 知っておきたい子どものBLS:12名
- 認可外保育施設職員テーマ別研修会:4名
- Vナース資格院内研修:2名
- 8月 認可外保育施設職員テーマ別研修会:2名
- 11月 大学合同防災訓練:0名
- 認可外保育施設職員テーマ研修会:2名
- 12月 認可外保育施設職員テーマ研修会:2名
- 3月 知っておきたい子どものBLS:12名



年間件数	昼間保育	延長保育	夜間保育	休日保育	病児保育
2386	1982	49	55	30	270

## 研究支援員制度

本制度は妊娠・出産・育児・介護等のライフ・イベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった研究者や高い学術レベルの研究を行っている将来有望な女性研究者を支援するもので、「研究支援員」の配置により、研究の継続と躍進を支援し、本学に於ける研究活動の活性化を図ることを目的としています。

《研究課題》動脈硬化性進展及び粥腫不安定化におけるCD4 T細胞の役割

循環器内科  
講師 佐藤加代子

《最終学歴》1988年 東京女子医科大学医学部卒業

《現職》東京女子医科大学 循環器内科 講師

《研究内容》動脈硬化の臨床研究で学位論文を取得し、さらに機序を追求したいと考えたのが研究との出会いです。細田瑛一名誉教授より東京医科歯科大学 室田誠一教授をご紹介いただき国内留学、その後出産・臨床復帰を経て、「急性冠症候群の免疫学的機序を解明する循環器医求む」というメイヨークリニックWeyand教授の募集を見て留学しました。研究の醍醐味は、時間を費やし結果が得られないことがある反面、臨床での疑問の答えが得られた時の喜びは言い表せません。少しでも医学の進歩に貢献できるよう、精進したいと考えております。



《支援内容》動脈硬化モデルマウス大血管の薄切と動脈硬化進展、炎症細胞浸潤の免疫染色。

《メッセージ》臨床、病院業務、教育などで研究が停滞していましたが、研究支援員制度の支援をいただき、研究進展の糸口となりました。関係の諸先生方に感謝申し上げます。

《研究課題》逃避様式の決定に関する分子遺伝学的研究

生理学講座  
(細胞分子生理学分野)  
講師 若林沙耶香

《最終学歴》2007年 東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 博士課程後期 修了  
(博士号(理学)取得)

《現職》2018年～東京女子医科大学 医学部 生理学講座(細胞分子生理学分野) 講師

《研究内容》私の専門とする脳神経学分野では、日々新しい知見や技術が生まれ、課題は星の数ほど存在します。研究の魅力は、一生飽きないところ、誰でも学術論文という形で歴史に名を残すことができること、でしょうか。



《支援内容》特定の遺伝子を欠損・改変した生物を「変異体」と呼びます。支援員さんには、変異体の交配の後の遺伝子型の確認実験を主にお願いしています。また、地道な試料の登録業務も欠かせない支援の1つです。

《メッセージ》私は一児の母であり、研究時間が限られます。支援を受け、研究が明らかに加速したのを実感しています。支援員さんのありがたみを実感したことで、本制度終了後も人件費を捻出できるよう、外部資金への応募にもこれまで以上に熱が入りました。おかげさまで、講師に昇格することもできました。本制度に、心より感謝申し上げます。

7月25日(水)  
親子でチャレンジ  
医療・看護体験  
参加人数 39名



### 女子中高生の 理系進路選択支援プログラム

女子中高生の理系進路選択支援プログラム  
「未来のいのちと健康を支えるのは『あなた』2018」  
を実施いたしました。

8月3日(金)  
理系の学業、仕事を応援する  
試薬その工場を見よう  
参加人数 18名



8月6日(月)、7日(火)  
私も未来の科学者  
参加人数 37名



8月22日(水)  
サイエンスカフェ  
参加人数 28名



9月22日(土)  
チームで支える病院の仕事  
参加人数 22名



12月26日(水)  
命を救う最先端研究を知ろう  
参加人数 29名



# 女性医師再研修部門

相談者の出身大学を問わず、全国から復職相談(キャリアカウンセリング)を受付けており、オーダーメイドの研修を実施して、女性医師の復職をバックアップしています。



## 部門紹介

### 相談者



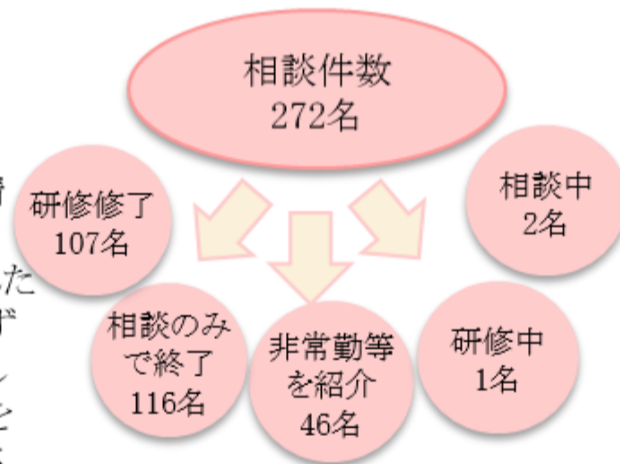
### 研修・相談の流れ



## これまでの実績

### 申請者状況

2006年の設立以来、申請者は272名となりました。内訳は実際に研修をされた方が107名、研修を行わず働き方などを提案・紹介した方が46名、同じく研修を行わず相談のみで修了された方が116名となります。



### 相談・研修後の状況調査

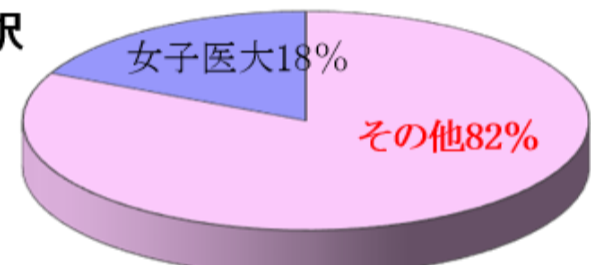
当部門に相談された方のその後を調査したアンケート結果です。離職(休職)されていた方(32人)のうち常勤・非常勤へ復職された方は75%(24人)になります。

	人数	割合
常勤	9	28.1%
非常勤	15	46.9%
休職中他	5	15.6%
その他	3	9.4%
合計	32	100%

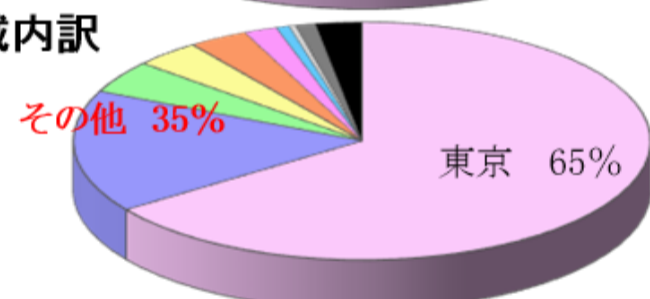
※有効回答総数71件 (2016年3月実施)

※相談時に離職(休職)中の32人に対する後追いアンケート結果

### 大学内訳

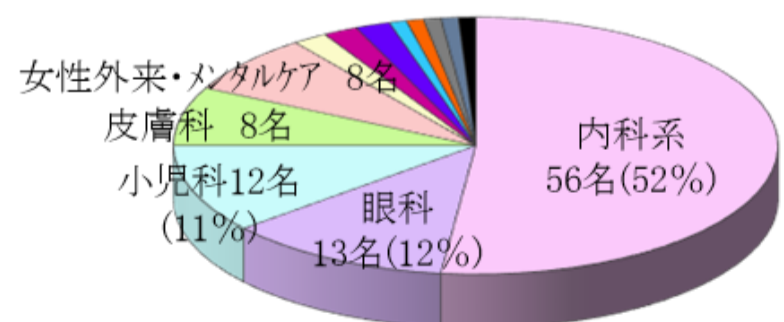


### 地域内訳



相談者の卒業大学、お住まいの地域などを問わず相談の受付を行っています。他大学卒業の方が8割を超え、全国からご相談を頂いております。

### 研修実施科内訳



その他に産婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科など累計13科にて受入れを行いました。

※数値は2019年3月31現在



## 研修実施報告

2018年度研修受入れを行った診療科及び学外施設

本院眼科、本院総合診療科、東医療センター内科、  
成人医学センター、東葛病院内科

ご協力ありがとうございました。



部門長 石黒 直子

N先生(50代)

研修先:眼科  
研修期間3ヶ月

### —再研修の動機—

夫の開業と同じくして妊娠・出産し、志半ばで退局した経緯があり、勉強し残したことがあるという意識がずっとありました。開業は医者である以外のことをやらなければならないことが多く、家事、育児も重なり、医者である自分は気持ちの上で一時的に中断しなければなりません。しかし、いざアップデートしたいと思っても育児全般、開業病院雑務のため、なかなか現場感覚が戻らず、今どきの治療に追いつけていないと日々焦りがありました。

### —研修を終えての感想—

指導教授から「今はまとめて勉強するのにいいタイミングだよ。いつから始めようか」と、すぐに受け入れてくださったときは大変感激しました。希望の分野について勉強できるよう指導医を取り囲んでくださり、直接診療を拝見し、疾患に対する参考資料をすぐに教えてもらうことができました。

多数の症例を見せていただき、抜け落ちていた期間の知識の補填、専門的な知識、手技を深められました。明日からの診療に前向きに取り組んでいきたいと思えます。

S先生(40代)

研修先:内科  
研修期間:4ヶ月

### —再研修の動機—

初期臨床研修後、体調不良や出産等で休業していた時期があり、再就職に自信が持てませんでした。

不足している知識や技術の習得を目指して研修をしたいと思いましたが、一般的な研修プログラムをこなすことは難しく、女性医師再研修部門に相談することにしました。

### —研修を終えての感想—

自分に不足している分野を無理なく勉強しなおしたいと希望を出したところ、自宅近くの協力病院をご紹介いただき、研修プログラムを組んでいただくことができました。

研修では普段の業務の中では困難であったエコー検査の手技や病棟での基本的な診察、X線やCTの読影、人工呼吸器の設定方法等を教えていただきました。

今後はさらに協力病院の時短プログラムで、諦めていた認定と専門医取得を目指して再出発する予定です。

再復帰で悩んでいる多くの医師にこの支援システムの活用をお勧めします。

## 取材協力

### ★ 朝日新聞(2/2掲載)

女性医師が働き続けるための女子医大が行う支援事業について紹介

### ★ TBS上田晋也のサタデージャーナル(10/27放送)

女子医大独自の復職支援として女性医師再研修部門を紹介

### ★ FNNプライムオンライン(12/3掲載)

出産等によるブランクがあっても復職できるプログラムについて、女子医大の取り組みを紹介  
—掲載サイト—

<https://www.fnn.jp/posts/00391020HDK>

### ★ 公明新聞(9/21掲載)

女性医師の働き方に焦点を当て、復職支援やキャリア形成について紹介



## 看護職キャリア開発支援部門

看護職のキャリア開発と勤務継続を支援するために、看護部、看護学部、看護専門学校が協働して、看護職のキャリア支援システムの構築を目指しています。



### キャリア/メンタルヘルス相談プロジェクト

#### ★キャリアカウンセリング

仕事と子育てを  
両立したい

仕事をしながら  
勉強できる?

これから何を  
目指していく?

#### ★メンタルヘルスカウンセリング

看護職員を対象に、無料でカウンセリングを実施しています。



#### ◆2018年度実績◆

- ・キャリアカウンセリング 13件
- ・メンタルヘルスカウンセリング 199件
- ・メンタルヘルスの不調な看護師を支援する看護職者の相談 172件

### 自己学習支援プロジェクト

#### ★看護専門領域スキルアップ研修

13の専門領域に特化した研修を実施しています。



#### 【13領域】

がん看護、救急看護、皮膚・排泄ケア、呼吸ケア、脳神経看護、高次脳機能障害看護、脳卒中リハビリテーション看護、リエゾン精神看護、手術看護、腎臓病看護、慢性疾患看護、遺伝看護、HIV/AIDS看護

#### ◆2018年度実績◆

- ・13領域、約70研修を実施
- ・年間のべ約530名が研修参加

#### ★自主学習グループ支援

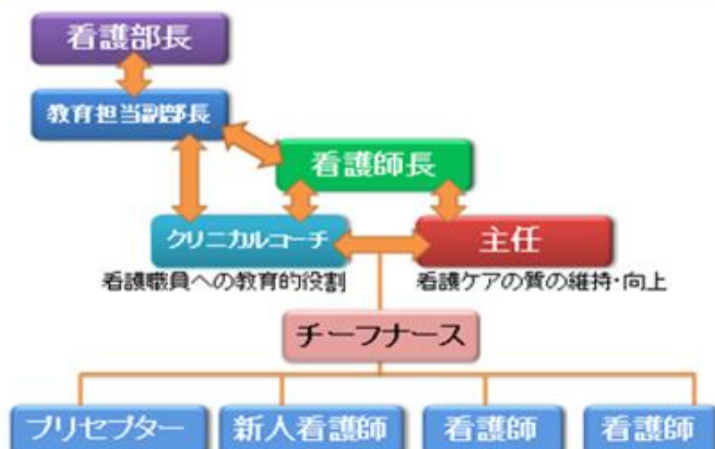
本院:「子どもの療養環境を改善する自主的活動グループ(Growth With Children)」を発足  
八千代医療センター:本学看護学部看護研究科の修了生が中心となり「個連可楽(これから)の会」を発足

### 変革推進力育成プロジェクト

#### ★クリニカルコーチ育成研修

クリニカルコーチは、看護師長や主任と連携しながら教育的役割を担い、看護職や看護学生の成長を支援しています。

#### クリニカルコーチの位置づけ



#### ◆2018年度実績◆

- ・第7期生(15名)の研修を開始
- ・累計120名のクリニカルコーチを輩出



#### ★師長の変革推進能力向上支援

看護師長が心と体を解きほぐし、師長自身が自身を持って、自分を改革していくための基盤を養う研修を実施しています。

## 看護研究推進プロジェクト

看護部門(看護部・看護局)と看護基礎教育機関(看護学部・看護専門学校)による研究活動の連携を推進し、看護の実践、教育、研究の質の向上を図るため、2018年度に発足しました。

看護研究に関する教育支援・啓発活動の企画	「研究支援者」に対するスーパーバイズや相談・サポート	看護部門および看護基礎教育機関の研究活動の連携推進
◆セミナー、ワークショップ、講習会	◆看護学部教員がアドバイザーに ◆研究支援者ピアサポートの会運営	◆研究の実践指導、フィールド提供



## はたらき方支援プロジェクト

### ★ライフイベント支援

妊娠・出産という女性にとって大きなライフイベントを迎えた方を対象に、ガイドブック「新しい家族を迎えるにあたって～ワーキングママ&パパを応援する本」を配布しています。

### ★キャリア支援制度

休職をしないで育児や進学・介護と日常の看護業務を両立できる制度や、国外研修のための休職制度、さらにキャリアアップのための「在籍したまま進学できる制度」を設けています。



① 看護職キャリア継続支援のための短時間勤務制度	② 看護職進学休職制度	③ 看護職国外研修休暇制度	◆2018年度実績◆ ①31名利用 ②1名利用 ③6名利用 ※2018年4月時点の希望者数
-----------------------------	----------------	------------------	---

### ★新たに主任になった看護職のためのキャリアセミナー/看護職キャリアセミナー

主任になった看護職や概ね5年以上の経験を持つ看護職を対象としたキャリアセミナーを実施しています。

- ◆2018年度実績◆
- ・新たに主任になった看護職のキャリアセミナー  
2018年7月1日(土)に参加者5名で開催
  - ・看護職キャリアセミナー  
2018年度は開催せず

## 認定看護管理者教育課程ファーストレベル

日本看護協会が主催している看護管理者研修としては現時点で唯一の系統的な研修

日本看護協会は看護師主任はファーストレベル、看護師長はセカンドレベル、看護副部長・部長はサードレベル受講を推奨

本学は「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」の教育機関として日本看護協会より認定

- ◆2018年度実績◆
- ・2018年6月2日～9月22日開講(26日間150時間)
  - ・37名受講し、全員修了(学内20名、学外17名)



# ダイバーシティ 環境整備事業推進室

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に基づき、各部門と連携し女性が活躍できる環境づくりに取り組んでいます。



テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 特命含 30% 准教授 特命含 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 学生サポーター育成 介護支援制度の利用開始
プロセス	①プラスファクター方式導入 ②特命担当教授新設 ③教員評価制度見直し ④所属長意識改革	①メディアラボ運営 ②ピアラーニング実施 ③キャリア形成個別支援 ④各種セミナー・講演会 ⑤研究支援員制度	①勤務環境改善 ②育児支援発展 ③介護支援創設
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備事業推進室 学長・副学長 理事長・センター長会議 学部長会議、彌生塾		
		彌生塾 図書館	女性医師研究者 支援部門、病院

2017年1月にダイバーシティ環境整備事業推進室を立ち上げ、以下の目標を達成するために取り組んでいます。

- 目標1: 女性教授割合を30%にする
- 目標2: 女性事務管理職割合を30%にする
- 目標3: 育児や介護関連制度等を周知し、  
利用しやすい職場環境や雰囲気づくりの  
推進
- 目標4: 臨床系教員及び医療練士研修生の短時間  
勤務の制度化・周知

## 上位職への積極登用

### 教授就任: 11名(うち女性科兼務3名)

彌生塾やダイバーシティ環境整備事業推進室の取り組みもあり、2018年度は新たに11名の女性教授が誕生しました。また、2017年にオープンした「女性科」(医療スタッフが全員女性からなる診療科。女性特有の疾患に限らず診療可能)では、本務の診療科との兼務で女性教授を任命できます。

### 特命担当教授の任命: 1名

女性教員の上昇志向をさらに高め、上位職登用候補者であることを学内外に示すために特命担当教授を任命しています。

### 教員評価制度見直し

女性リーダー育成やダイバーシティ事業への協力度を評価項目に取り入れるため、評価制度の見直しを行っています。10月～11月に11科・領域を対象に試行しました。

### FDの実施

女性上位職登用に対する意識改革を促す目的で教授を対象に実施しているセミナーです。

9月21日に塩満典子氏(JAXA)、11月16日に前田寛之氏(トーマツイノベーション株式会社)を講師に迎え実施しました。

## 研究力の向上

### eラーニングコンテンツの作成: 2コンテンツ作成

- ①「プレゼンテーション再考～わかりやすく伝えるテクニック～」大島 武 教授(東京工芸大学)
- ②「女子医大における女性医療人の働き方・キャリア形成支援事業について」  
本多 祥子 室長(ダイバーシティ環境整備事業推進室)

### 研究支援員制度(女性医師・研究者支援部門) → P.6

### 各種セミナー・講演会・ピアラーニング(彌生塾) → P.3～4

## 勤務環境の改善

### 女性研究者が在籍する部局の勤務環境の改善

眼科・形成外科では働き方に関する座談会を実施し、改善取組に対して推進室が適宜支援を行っています

### 介護支援制度

経営統括部人事課にて介護相談窓口を設置しています

\* 本学の介護制度をまとめたパンフレット配布中

窓口利用対象者 : 本学教職員であればどなたでも

### 育児支援の充実(女性医師・研究者支援部門) → P.5



## 業績一覧

### 運営委員 学会・講演会等発表

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
肥塚直美、 斎藤加代子 他	シンポジウム	口演	第59回 日本神経学会	女性医師キャリア形成 ー東京女子医科大学の取り組みー	札幌	2018/5/26
藤本美樹子、堀内 喜代美 他	一般講演	口演	女性医師研究者 支援シンポジウム2018	女性外科医を続けるために ～チーム担当制で診療することの利点を考える～	東京	2018/6/2
本多 祥子	一般講演	ポスター	第16回男女共同参画学 協会連絡会 シンポジウム	女性医師・研究者の上位職登用、 研究力向上とダイバーシティ研究 環境整備	東京	2018/10/13
斎藤 加代子	基調講演	口演	一般社団法人全国医学 部長病院長会議(AJMC) 女性医師等キャリア支援 連絡会議全国会議	東京女子医科大学における女性医師等キャリア 形成支援	東京	2018/11/2
内田 啓子	一般講演	口演	第1回岐阜県医師会男女 共同参画 講演会	日本腎臓学会と東京女子医大の男女共同参画 の取り組み ～CKD,CKD合併妊娠も含めて～	岐阜	2018/11/15
東京女子医科大学 (代表: 岡田みどり)	イベント出展		レガス 子どもフェスタ2019	医療体験にチャレンジ @東京女子医大	東京	2019/3/2

### 支援を受けた女性医師・研究者

著者名	タイトル	誌名
Jinko Yokota, Michiko Nohara, Toshiko Kamo, Fumi Horiguchi, Keiko Uchida	Cross-sectional questionnaire study of premenstrual syndrome and stress factors of female medical students	BMC Women's Health
Akiko Sakai , Kayoko Sato , Haruki Sekiguchi , Michinobu Nagao , Shuji Sakai , Nobuhisa Hagiwara	Assessment of cardiovascular atherosclerosis in patients with heterozygous familial hypercholesterolemia using carotid ultrasonography and 320 detector row coronary computed tomography	Circulation; cardiovascular imaging
Kazumi Shinozaki	Noninvasive Removal of Pseudomembranes Using Tissue Plasminogen Activator Eye Drops	Ophtalmolgy
Keiko Fukushima, Sei Harada, Suzuka Kato, Ayano Takeuchi, Tomonori Okamura, Toru Takebayashi	Association between dyslipidemia and plasma levels of branched-chain amino acids in the Japanese population without diabetes mellitus	Atherosclerosis
Kazuyo Yamauchi	Effect of a peer role playing simulation on the competency of medical students in performing musculoskeletal physical examination and clinical reasoning	Medical Teacher
Yuki Yagasaki, Goichi Miyosi, Mariko Miyata	Experience-dependent MeCP2 expression in the excitatory cells of mouse visual thalamus	PLoS ONE
Akiko Yoshii, Makoto Sekihara, Takuro Furusawa, Francis Hombhanje, Takahiro Tsukahara	Factors associated with children's health facility visits for primaquine treatment in rural Papua New Guinea	Malaria Journal

## 活動報告

彌・・・彌生塾 支・・・女性医師・研究者支援部門  
 再・・・女性医師再研修部門  
 看・・・看護職キャリア開発支援部門  
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	彌	支	再	看	ダ
4月2日	研究支援員制度 2018年度利用者募集開始		★			★
5月15日	リーダーシップセミナー 第1回	★				★
6月2日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル開校式				★	
6月2日	女性医師研究者支援シンポジウム		★			★
6月11日	第16期保育サービス講習会(全7回)		★			
6月22日・27日	英語セミナー「英語論文A」	★				★
7月23日	彌生塾セミナー「研究倫理セミナー ～臨床研究を始める前に知っておかなければいけない研究倫理～」	★				★
7月23日	研究支援員制度利用者 審査		★			★
7月25日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム 第1回		★			
8月3日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム 第2回		★			
8月6日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム 第3回		★			
8月18日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル公開講座				★	
8月22日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム 第4回		★			
8月29日	ファミリーサポート前期スキルアップ研修		★			
8月29日	宮崎県医師会 ファミリーサポート室視察来校		★			★
8月31日	英語セミナー「英語プレゼンテーション」	★				★
9月12日	北海道大学病院 男女共同参画推進室 女性医療人キャリア形成センター視察来校	★	★	★	★	★
9月21日	ダイバーシティ講習会 第7回 「女性研究者の上位職登用とワーク・ライフ支援について」					★
9月21日	彌生塾セミナー 「科研費採択のための効果的な情報分析と計画調書作成セミナー」	★				★
9月22日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム 第5回		★			
9月28日	リーダーシップセミナー 第2回	★				★

日付	内容	彌	支	再	看	ダ
10月1日	研究支援員制度、短時間勤務支援 2019年度利用者募集開始		★			★
10月10日・16日	英語セミナー「英語論文B」	★				★
10月24日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型) 中間評価面接審査					★
10月27日	ファミリーサポート全体交流会		★			
10月29日	彌生塾セミナー 「プレゼンテーション再考～わかりやすく伝えるテクニック～」	★				★
11月8日	ピアラーニング 第10回	★				★
11月15日	川崎市皮膚科医会女性医療人キャリア形成センター視察来校	★	★	★	★	★
11月16日	ダイバーシティ講習会 第8回「7,500人のデータからわかる女性が 成長し長く活躍するための職場開発(働き方改革)」					★
11月30日	徳島大学AWAサポートセンター 女性医療人キャリア形成センター視察来校	★	★	★	★	★
12月1日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル閉校式				★	
12月8日	彌生塾講演会・ダイバーシティ環境整備事業中間報告会	★	★			★
12月8日	リーダーシップセミナー 第3回	★				★
12月26日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム 第6回		★			
1月23日	ピアラーニング 第11回	★				★
1月28日	研究支援員制度利用者 審査		★			★
2月7日	全国ダイバーシティネットワーク組織 大阪大学シンポジウム参加					★
3月6日	全国ダイバーシティネットワーク組織 東京ブロック会議					★



## 女性医療人キャリア形成センター基金



女性医療人キャリア形成センター基金につきましては、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。これからの社会において多くの女性医療人たちが活躍できるよう、深いご理解とご関心をお寄せくださる皆様から賜りましたご芳志を深謝するとともに重ねて心からお礼申し上げます。

### ご寄付合計額

104,570,000円(2019年3月末累計)

### ご芳名一覧(五十音順)

郡 真理 様 関東化学株式会社 様 唐澤 久美子 様 久富 康志 様 小泉 由樹子 様 新美 佐知子 様  
森村 公子 様 西牟田 敏明 様 肥塚 直美 様 女子医大44卒同窓会 匿名4名

### 募集要項

- 目的……女性医療人の勤務継続支援および医療人としてのキャリア形成とリーダーシップ育成を行うための経費
- 目標額……3億円
- 対象……法人:1口の金額を特に定めておりません。  
個人:1口2万円(多数のご支援をいただけますと幸いです。)

※申込方法、振込方法、免税措置(企業等法人、個人)など、寄付に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



## 東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1  
TEL:03-3353-8112(内線41382) FAX:03-3353-6793  
MAIL:cdc.bm@twmu.ac.jp